



株式会社メロス

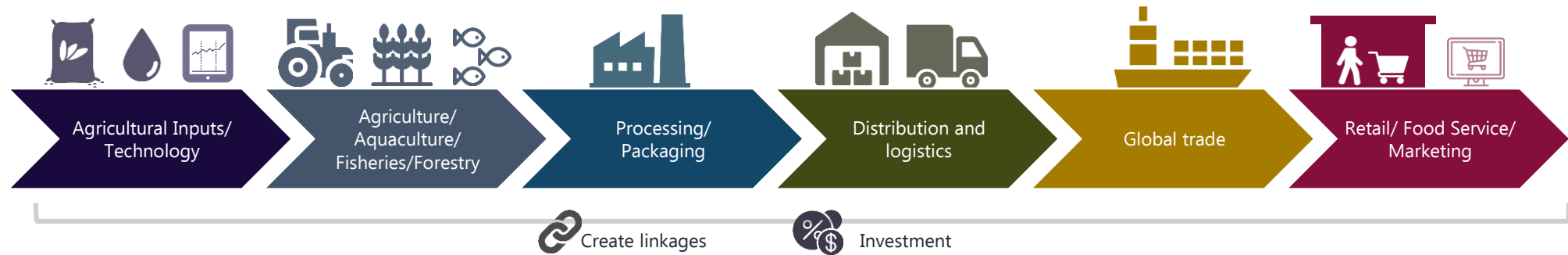
東京都千代田区神田淡路町1-19-3 ONOビル2F

Tel: 03-3526-2075

<https://jp.merosconsulting.com>

inquiries@merosconsulting.com

グローバルな食と農のビジネスにおける 皆さんの挑戦をサポートします！



食と農は、すべての人の毎日の生活に必須の産業です。食と農における持続可能なビジネスとその連携が、経済成長と社会発展、食の安全・安心、責任ある自然資本の利用を支えています。

脱炭素や生物多様性確保、ESG、SDGsに向けた社会的要請が、食や農、そして海洋や森林に係るビジネスに新しい展開をもたらしています。

このチャレンジと多様性に満ちた市場で、新しい機会を捉え、技術とビジネスモデル、戦略を工夫し、創造的コラボレーションを可能にすることが、チーム・メロスのミッションです。

多様で、好奇心に富み、厚い経験と人脈を持つチームが、皆さんの意思決定を支援します

Our Leadership Team

小倉 千沙

Managing Director ・ 共同創業者

東京大学で農業経済学の修士号を取得。農業・食品・環境に特化した外資系コンサルティング企業にて、国際貿易・国際農業政策、食料安全保障、農水産物の需給予測等の業務を担当後、メロスを設立。

海外投資やESG/インパクト投資、フード・アグリ・バイオ系テックの活用・実証や新規事業開発支援、グローバルな食品サプライチェーンにおける脱炭素支援等を手掛ける。



ルーシャ・ヴァンチュラ

Director, Operations ・ 共同創業者

コロンビア大学国際関係大学院経済開発部で修士号を取得。日本、台湾、タイで、社会開発やメディアコンサルティング、マイクロファイナンスの指導や海外展開支援コンサルタントを経てメロス立ち上げに参画。

食農関連日系企業の海外展開支援を得意とするほか、グローバルなアグリ・フード・海洋・環境関連テックのスタートアップや投資動向に詳しい。

日本を拠点としつつ、常時米国と往復する。

黒木 彩子

Director, Planning ・ 共同創業者

国際基督教大学で学士号を、ロンドン大学東洋アフリカ研究所（SOAS）で修士号を取得。NPO法人、国際協力銀行、国際協力機構（JICA）、民間企業のシニアコンサルタントを経て、メロスの設立に参画。

日系企業やスタートアップ支援の他、地理的表示や品種等の知財活用にも詳しく、バイオプラスチック、ケミカルリサイクル等のプラスチック・包材関係、バイオ燃料、農業・海洋分野GHG削減技術探索等も担当。



ティナ・ペネヴァ

Director, Business Development ・ 共同創業者

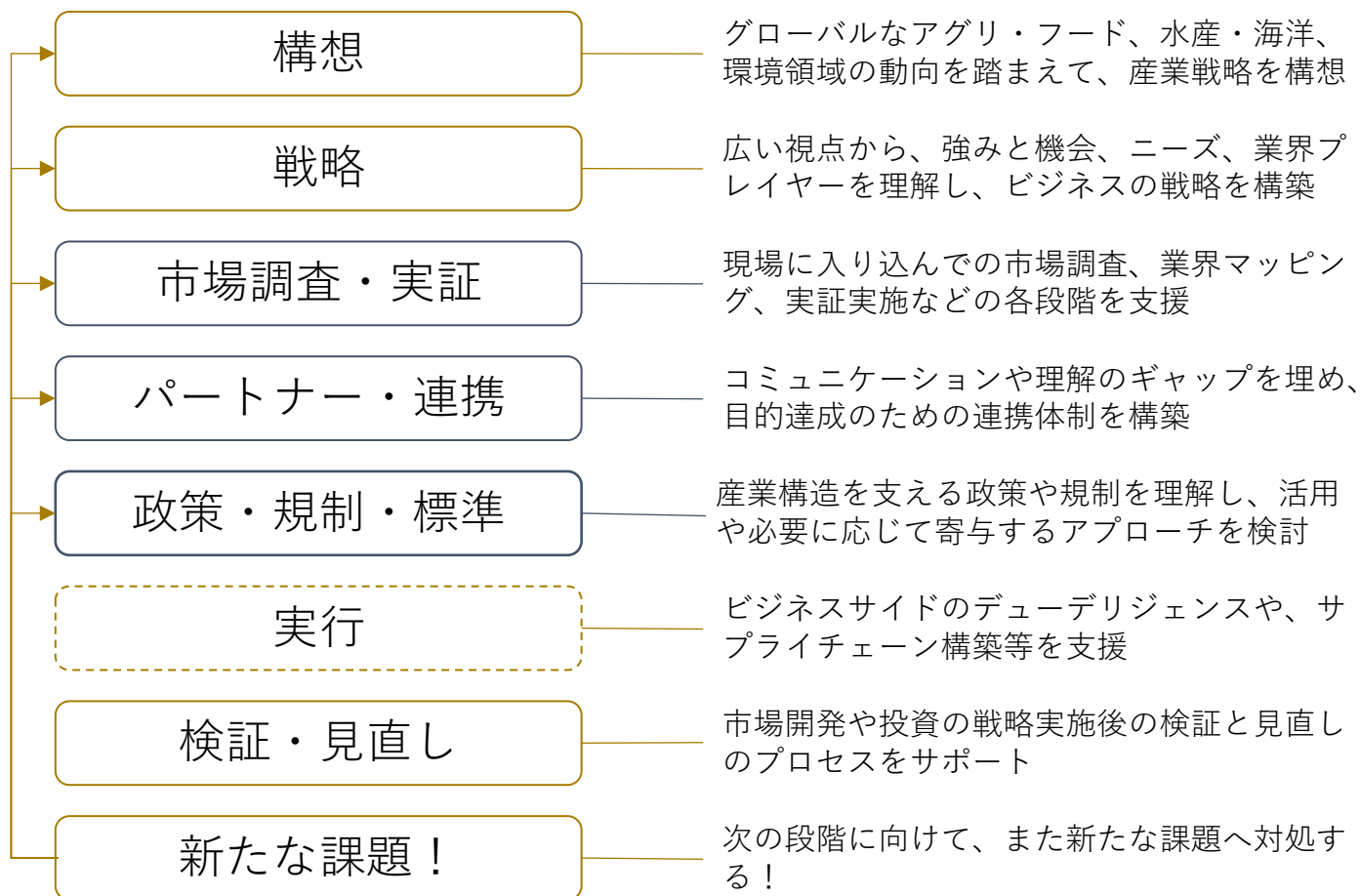
京都大学大学院人間・環境研究科にて、和牛の文化人類学的研究にて博士号を取得。調査会社ACネルソン調査員、米国国際協力機関（USAID）、民間コンサルティングファームのシニアコンサルタントを務めたのち、メロス立ち上げに参画。

水産・海洋関係の案件を多く担当するほか、欧州の農業・環境政策やそれに対する民間企業・金融等の動きをウォッチする。

欧州事務所を拠点として、欧州・CIS・中東・アフリカ案件を担当。

業界の深い理解が、構想から戦略策定、パートナー選定、検証、新たな課題解決への支援をたしかなものにします

Our Support for Each Business Stage



案件事例：

- 食農業界構造・課題把握・機会探索
- 食農及び関連テック業界投資構想策定支援
- 新規事業開発、スタートアップや中堅企業への投資、サステナサプライチェーン構築等の戦略策定構築・策定支援
- 構想を踏まえつつ関係者の機微に踏み込むインタビュー調査、文献調査等の実施
- 実証事業の側面支援
- パートナー選定プロセスの支援
- コミュニケーション支援
- 政策動向や見通し、補助金等のインパクト
- 規制や業界標準等の状況と活用、ロビー活動の必要性との検討
- ビジネス・デューデリジェンス実施の支援
- サプライチェーン構築の現場支援
- プロモーション戦略活動の見直し
- 投資後の課題解決のための調査・改革戦略

ネットワークづくりを得意とし、 信頼できる国内外の専門家・パートナーとの連携を培ってきました。



2 OFFICES

東京本社、欧州に事務所があります。



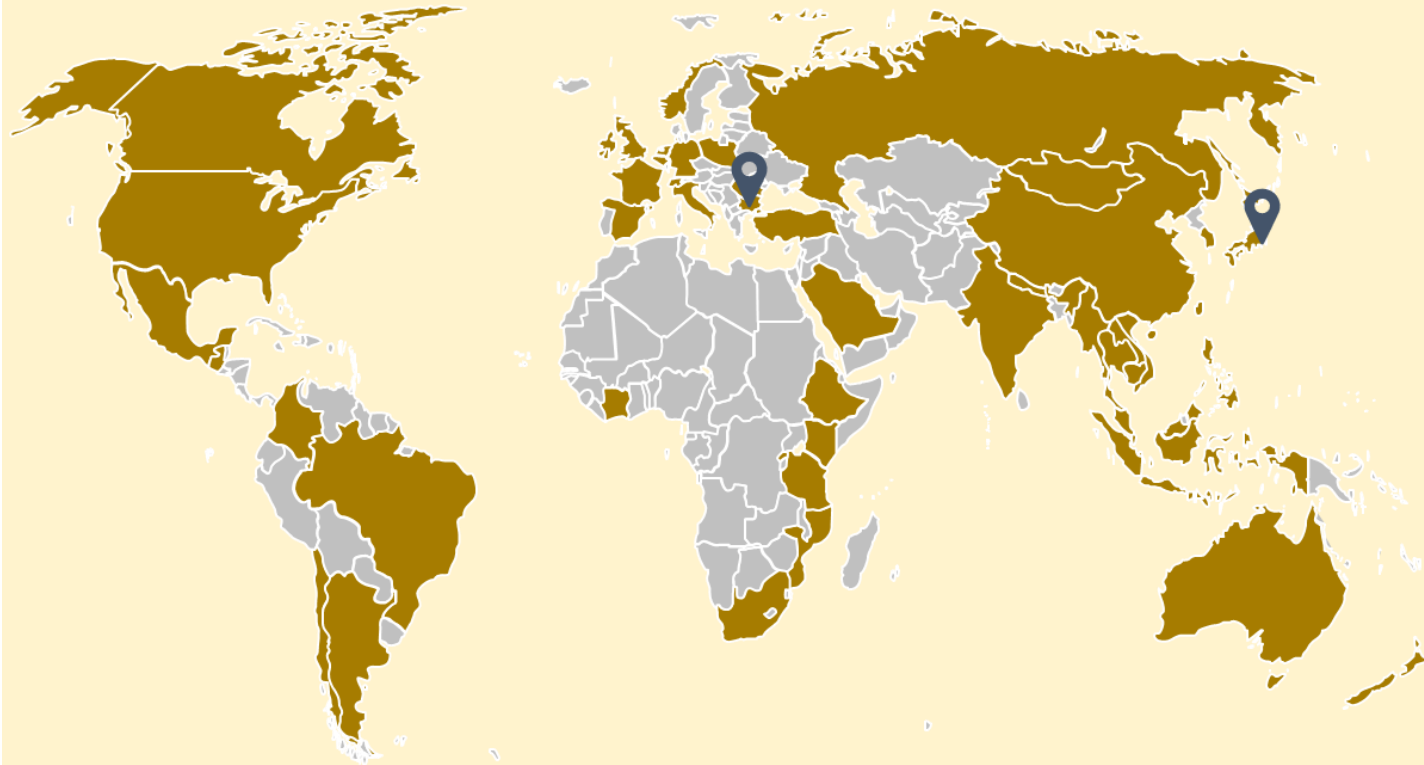
6 CONTINENTS

日本とアジアを軸に、6大陸に跨って国内外の食農バリューチェーン展開を支援します。



OVER 100 PARTNERS

国内外で、フリーランスの専門家や現地企業との連携構築を図っており、現在約100ヵ所と協力しています。



グローバルな食農のエコシステム構築へ貢献しています



- メロスは2025年にバリューチェーンジイニシアチブに加盟。
- 食・繊維分野での農産物バリューチェーン介入の方法論と炭素会計への接続方法をワーキンググループ形式で検討・ガイドライン策定を行うプラットフォーム。
- Sustain Certが主導し、大手食品・農業メーカー、カーボン認証機関（Gold Standard, Verra）やGHGプロトコル等の関連機関、コンサルティング会社（South Pole等）等が参画。日本からはサントリーと弊社が参画。

■ Examples of members

AGI Denim	Cool Farm Alliance	Global Fashion Agenda	Roundtable on Sustainable Biomaterials	Textile Exchange
AgriCapture	Crop Intellect	Higg	SAI Platform	The Nature Conservancy
AgSpire Inc.	Diageo	HowGood	Scheffer	U.S. Farmers and Ranchers in Action
American Forest Foundation	eAgronom	ISEAL Alliance	Science Based Targets Initiative	UN Fashion Industry Charter
Apparel Impact Institute	Econsclia	JOCV Sustainability	Seqana	VERRA
Arbor Day Foundation	Environmental Defense Fund	Marine Stewardship Council	Soil Capital	Viresco Solutions
Arva Intelligence	Fairtrade International	McDonald's	Solidaridad	Vlinder
Athian	Fibershed	Native	South Pole	WBCSD
BASF	Field to Market	Nature United	Sustainable Apparel Coalition	Windfall Bio
Better Cotton Initiative	First Climate	NCBA Clusa	Sustainable Food Lab	Winrock International
Chloris Geospatial	Forest Stewardship Council International	Organic Cotton Accelerator	Syngenta	World Resources Institute
Clarmondial	GHG Protocol	PurProjet	Target	WSP
Conservation International	Global Dairy Platform	Quantis	Terra Carbon	



- メロスは2023年から継続してReThinkイベントの主催する様々なイベントへの登壇・参加支援を通じて、アジアを中心に日本企業からの国際的なエコシステムへの関与を推進。
- “Cレベル”の参加者を集め、サンフランシスコで世界最大級のフードテック、アグリテックイベントを開催しているほか、欧州、中南米、アジアでアグリフードテック、アニマルテック、パッケージ/プラスチックテック、オーシャンテック（水産、藻類等）等のイベント運営を統括する。



2024年の日本からの登壇企業例：

- 農林水産省 経営局長 杉中淳氏
- 日本政策投資銀行 企業金融第3部 小川周作氏
- 住友商事 アグライノベーションユニット長 大国裕二郎氏
- 味の素株式会社コーポレート本部R&B企画部イノベーション戦略・CVCグループマネジャー 齋藤博幸氏
- キューピー株式会社 研究開発本部/日本食品科学工学会 産官学連携委員会副委員長 田中敏治氏
- サグリ株式会社 東南アジア事業責任者 坂本和樹氏
- 一般社団法人細胞農業研究機構 代表理事 吉富愛望アビガイル氏
- New Forest（三井物産／野村證券 子会社）Sanjiv Louis氏
- 株式会社メロス 小倉千沙

食農への投資の流れを促すイニシアチブを応援します

農業・農地に対する金融機関や民間の投資に係るアドボカシー

- Global AgInvesting (GAI) Tokyoにおいて「農業投資のランドスケープ：農業の投資可能性」について講演
- 三井物産/New Forest 20周年記念講演会における農業投資の可能性についてのパネルディスカッションに登壇
- PEI Ag Investor Tokyoの農地投資とESG/インパクトのパネルディスカッションに、日本開発投資銀行や培養肉スタートアップCEOを招き、パネラーとして登壇
- PEI Ag Investor Tokyoの農業投資のパネリストとして登壇
- PEI Responsible Investor Forum Tokyo に農業パネル（農地投資・アグリフードテック投資とサステナビリティ）にモデレーターとして登壇
- 日経Ag/Sumで農業投資に係るパネルとして登壇
- 農林水産省のESG投資に係る省内ウェビナーに登壇
- 農林水産省の食品業界におけるESG投資に係る検討委員（2021年度、2022年度）
- 農林水産省の国際標準化に係る検討委員（2024年度）



食農領域におけるインパクト投資に係るウェビナーシリーズ

- インパクト投資が国際的に新しい投資戦略としての認知度を上げる中、日本では社会貢献的で非営利といったイメージが依然として残っていること、また国内社会課題に興味が集まって国際的な舞台でプレゼンスが非常に小さいことを、取り組むべき課題として認識。
- 特に、国際的には農業・食品分野がインパクト投資で最も注目を集めているが、日本での注目度は低く、農・食におけるインパクト投資、インパクトビジネスのコンセプトの普及を狙い、ウェビナーを提供。
- 食農エリアに係るインパクト投資（ベンチャー投資、PE投資等を含む）に関する一連のウェビナーの開催を実施。2023年以降は、自然資本に着目し、一連のシリーズを実施。
 - 第1回2023年3月9日 自然資本強化のための投資を拡大するにはどうするか
 - 第2回2023年4月20日 生物多様性の現状:課題、問題解決策とその可能性
 - 第3回2023年6月8日 森林地における課題とビジネス・投資の可能性
 - 第4回2023年7月13日 海洋を巡る課題とビジネス・投資の可能性
 - 第5回2023年10月13日 農耕地・牧草地を巡る課題とビジネス・投資の可能性
 - 第6回2024年6月25日 海洋の健全性と生物多様性に貢献する、グローバル食料システム変革への投資
 - 第7回2025年1月10日 ネイチャー・生物多様性ファイナンス: ブレンデッドファイナンスの可能性及び生物多様性基準・測定の重要性と課題
 - 第8回2025年4月25日 ネイチャーファイナンス: 生物多様性クレジットの現状と可能性
 - 第9回2025年10月30日 生物多様性クレジット市場の可能性: 豪州ビクトリア州での実践と教訓



<https://www.j-iin.org/>